

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 18	
			令和 8年	8月27日
			午前・午後	2時55分
議会名	令和 8 年 第 3 回 佐野市議会定例会			
発言者	議席番号 14 番 早川 貴光			
答弁を求める者 (選択してください)		市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)		あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)		小項目 (具体的な質問内容)		
1. デジタル地域通貨「さのまるペイ」について (1) 物価高騰対策「さのまるペイポイント給付事業」について		① 給付対象者数と受取完了数について伺います。 ② さのまるペイの利用総額及び期限切れとなった未利用ポイント額について伺います。 ③ カードからアプリへ移行した件数及び100ポイント付与された件数について伺います。 ④ スマホ決済及びカード決済の金額について伺います。 ⑤ 利用金額のうち、物価高騰対策としての食料品や日用品等に使われたと思われる金額について伺います。 ⑥ 約9,692万円の事務費等を含めた事業費に対して、行政コストと事業効果をどのように評価しているのか伺います。 ⑦ この事業を実施することによって、今後のさのまるペイ事業にどのような効果を与えるのか伺います。		

(2) 加盟店となる店舗の拡大について	① 店舗拡大の課題について伺います。 ② カードの取り扱い店舗の考え方について伺います。
(3) さのまるペイ総額 1 億ポイントプレミアム還元キャンペーンについて 2. 佐野市におけるデジタル人材育成及びDX推進体制について (1) 佐野市デジタル人材育成指針について	① 事業目的について伺います。 ② ポイント配布が終了した際の周知方法について伺います。 ① 令和 6 年度、令和 7 年度及び令和 8 年度の現時点までに実施した職責別研修について、研修回数、受講者数及び習得状況を伺います。 ② 目指す人材像に到達するまで最低でも 5 年程度必要との答弁がありました。指針策定から現在までの進捗状況をどのように評価しているのか伺います。 ③ 指針では、希望する職員を対象に、各部 1 名程度、庁内 10 名程度の業務デジタル化推進員を育成するとしています。現在までの進捗状況を伺います。 (2) 佐野市 DX 推進計画における推進体制について ① デジタル人材育成指針に定める業務デジタル化推進員と、DX 推進計画に定める DX 推進員の役割の違いについて伺います ② DX 推進委員会を中心とする推進体制の進捗状況を伺います。

3. 飲食料品に係る消費税率の引き下げが本市に及ぼす影響について	① 飲食料品の消費税率が現行の8%から1%に引き下げられた場合、地方消費税交付金及び地方交付税を含め、本市ではどの程度の減収が見込まれるのか伺います。 ② 減収が生じた場合、本市の財政運営や社会保障施策をはじめとする市民サービスにどのような影響が見込まれるのか、また、市民サービスを維持するための財源確保について、どのように考えているのか伺います。
---	--